

第3章 地域福祉の担い手づくり【ともにまなぶ】

第1節 福祉について学びましょう

社協は、学校や地域住民等を対象とした福祉教育を推進することにより、あらゆる年齢層にわたり、地域福祉へより関心を持っていただくための取組を積極的に進めていきます。広がりのある事業を展開していくために、住民、学校、地区福祉推進会や福祉施設はもとより、行政とも、あらゆる面で「協働」を意識した福祉教育活動に取り組んでいきます。



夏休み福祉なんでも学習

3-① 福祉教育の推進

【現 状】 子どもたちや地域住民を対象に、優しさや思いやりの心を育むことを目的とした福祉体験や福祉講演会等を開催しています。

〈目標〉 小学生から大人までの各世代ごとに系統立てられたプログラムの実現を目指し、社会的包摂に向けた福祉教育を推進し、あらゆる年代にも対応できるメニューを立案します。

- 《取組》
- ・各世代にわたるプログラムの事業化
 - ・ウェブサイト内キッズページの内容充実
 - ・福祉教育副読本の活用

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
各世代にわたるプログラム事業化	プログラム内容の検討		各世代にわたるプログラムを事業化		
ウェブサイト内キッズページ充実	調査研究	内容検討	作成	ページ更新	
福祉教育副読本の活用推進	モデル地区実施	見直し	実施地区拡大		

第2節 地域福祉の人材を育てましょう

少子高齢化に伴い、多くの福祉団体やボランティアグループでは、その後継者不足に悩んでいるという声を多く耳にします。また、福祉や介護の現場である法人や事業所等においても、その人材を確保することに苦慮しているのが現状です。

社協は、各種ボランティア講座の修了者へのフォローアップに加え、これからの地域福祉活動の充実を図るための福祉人材確保に向けた取組や、各関係機関と連携を図りながら、次代に「つなぐ」事業を展開していきます。



傾聴ボランティア養成講座

3-② 福祉人材育成事業の推進

【現 状】 これからの福祉人材を長期的な視点で育成することを目指し、子どもから大人までを対象にした福祉に関する啓発事業に取り組んでいます。

〈目標〉 福祉人材確保及び定着に向けた取組を研究し、これからの福祉人材の育成に努めます。

《取組》・ アンケート結果を分析し、次代のニーズに合った育成事業の開催
 ・ 世代別福祉教育プログラムとの連動

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
育成事業の開催	アンケート 内容検証	新規事業実施		継 続	

3-③ ボランティアに関する各種講座の開催

【現 状】 ボランティアに興味のある方やこれからボランティアを始めようという方を対象とした入門講座をはじめ、託児、傾聴、音訳及び家具固定等の各種ボランティア講座を開催しています。

〈目標〉 内容の検討及び見直しを行い、各種講座修了生のフォローアップ及び活動先の拡充を目指すとともに、新たなニーズに対応した講座を開催します。

《取組》・ 各講座内容の検討及び見直し
 ・ 地域の生活課題等に密着した講座の企画立案

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
講座内容についての 検討及び見直し	内容の検討及び見直し ニーズの発掘			新たな講座の開催	

第3節 ボランティアやNPOの活動を支援しましょう

社協では、ボランティアに関する相談窓口や活動の場としてボランティアセンターを運営しています。これからも、より多くの市民に気軽に利用していただけるよう、その機能の強化に取り組めます。

また、地域社会への貢献活動に関心を寄せている企業や事業所に対しては、情報提供や活動の支援を積極的に行います。

さらに、ボランティア活動をはじめ、NPO活動を含めたさまざまな市民活動の輪を拡大し、相互に連携を図ります。



ボランティアセンター

3-④ ボランティアセンターの機能強化

【現 状】 ボランティアに関する情報発信、相談調整窓口として開設しています。

〈目標〉 ボランティア情報がいつでも得られ、市民のだれもが気軽に集え、活動のできるボランティアセンターを目指します。

- 《取組》・情報発信強化に伴うセンターへの相談対応の増加
- ・さまざまなボランティア活動メニューの整備
 - ・コーディネート機能の体制整備

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
相談対応増加 (H27 192件)	相談件数200件/年		相談件数250件/年		
ボランティア メニュー整備	メニュー整備・検討		新活動メニューの導入		

3-⑤ ボランティア活動への支援

【現 状】 ボランティア活動保険の加入など、ボランティア活動に携わる個人やグループへの支援を行っています。また、在宅でもできる収集ボランティア活動への支援を行っています。

〈目標〉 だれもがボランティア活動に関われるよう、個人やグループ等への支援を積極的に行い、ボランティア活動への参加拡大を目指します。

- 《取組》・ボランティア連絡会への支援
- ・地区福祉推進会や各関係機関との連携強化

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
ボランティア連絡会 への加入支援 (H27 42グループ)	登録団体50グループ		登録団体60グループ		
関係機関との 連携強化	連携団体の検討		連携に向けた取組の導入		

3-⑥ 企業の社会貢献活動への支援

【現 状】 地域貢献や社会貢献活動を望む企業や事務所に対して情報提供等を行っています。

〈目標〉 社会貢献活動に関心のある企業や、活動を検討中の企業に対して、取組が可能な活動メニューを提供し、今後求められる支援を目指します。

《取組》・ 企業や事業所等の拡大
・ 活動メニューの開発

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
活動の推進	企業1社		企業2社		企業3社
活動メニュー開発	調査研究		企業への提供		

3-⑦ 「はじめの一步」助成金の交付

【現 状】 市民活動を始めようとする団体に対し、その設立等に係る経費の支援を行うことにより、福祉、文化、教育等の向上を図ることを目的に、助成金を交付しています。

〈目標〉 設立間もない新規の団体に対し、より利用しやすい助成金となるよう申請等の手続き内容を検討し、市民活動の拡大につなげます。

《取組》・ 広報啓発の強化
・ 過去に助成金を受けた団体のフォローアップ
・ 助成金申請内容の検討

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
広報啓発強化	見直し・検討	実 施 ・ 継 続			
団体フォローアップ	研究・検討	導 入			
申請内容検討	研究・検討	導 入			